

議会だより

第24号

令和元年第3回定例会

令和元年第3回定例会が9月10日から12日までの3日間の会期で開催され、人事案件1件、条例3件、報告1件、令和元年度各会計補正予算7件、平成30年度各会計決算9件などが提案され、慎重に審議された結果、原案どおり可決・認定されました。

諸般の報告

《議長諸般の報告》

○水上村議会・水上村主要事業上京要望

8月26日から27日にかけて、本村の喫緊の主要課題10項目について、熊本県選出国会議員の先生方へ要望活動を実施した。

《村長諸般の報告》

○人吉球磨スマートインターチェンジ開通

8月10日、人吉球磨スマート



議会議員による現地視察の様子

インターチェンジが人吉球磨地域における地場産業の活性化、農林観光業の振興、新たな企業誘致、二次救急医療の安全利用を促進する緊急輸送道路ネットワークの整備を目的として開通した。

○金婚夫婦・ダイヤモンド婚夫婦表彰

・金婚式(結婚50年)夫婦：5組
9月6日、熊本日日新聞社主催の第61回金婚夫婦表彰伝達式が湯山石倉交流施設で行われた。

・ダイヤモンド婚(結婚60年)夫婦：6組

9月19日、それぞれの自宅を訪問し、ダイヤモンド婚夫婦表彰を行った。

○地域社会発展のための包括的連携協定を締結

本村と株式会社ソラシドエアとの空恋プロジェクトによる「水上スカイビレッジ号」の1年間の運航が7月末日で終了した。9月18日、引き続き本村の地域振興を進めていくための包括的連携協定を同社と締結した。

《教育長諸般の報告》

○郡民体育祭の結果

全体では8位と上位の町村を脅かすような活躍ができなかったが、柔道、ソフトテニスが団体優勝、アーチェリーが団体2位と健闘した。

○県中学校総合体育大会の結果

ソフトボールは2回戦に進んだが1対6で敗退。柔道は男子55キロ級に3年生の西飛向君、60キロ級に1年生の西恭吾君、女子48キロ級に2年生の上村虹愛さんが出場。上村さんは準優勝で九州大会に出場した。

○中学生の海外ホームステイ終了の報告

オーストラリアに8名、カナダに3名の計11名が参加した。参加した生徒は、語学、相手国の自然、暮らし、歴史、文化など、様々な学び、気づきなどを報告した。

○第3回水上マウンテンパーティー(トレイルランニング)大会の結果

9月1日(日)に開催し、ロン

グ62キロ、ミドル37キロ、ショート25キロの3部門で、出走者総数575名が水上の山々を駆け抜けた。完走率はロング56.3%、ミドル69.1%、ショート85.4%だった。

《人事案件》

○水上村教育委員会委員の選任
同意

水上村教育委員会委員に湯山神揚地区の西要子氏が選任され、全員賛成で同意した。任期は令和元年10月1日から令和5年9月30日まで。

《条例》

○水上村印鑑条例の一部を改正する
条例の制定

○水上村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例及び水上村下水道条例の一部を改正する条例の制定

○消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

《予算》

○令和元年度水上村一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に9,300

0万円を追加し、総額を33億2,820万円とするものです。

歳出の主なものは、村道白蔵線災害復旧工事2,900万円、村道古屋敷柳平線災害復旧工事3,600万円などを追加計上しました。

○令和元年度水上村国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に134万3,000円を追加し、総額を3億2,494万3,000円とするものです。

○令和元年度水上村介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に764万円を追加し、総額を3億7,679万4,000円とするものです。

○令和元年度水上村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に16万9,000円を追加し、総額を3,231万9,000円とするものです。

○令和元年度水上村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1

号)

歳入歳出予算の総額に252万5,000円を追加し、総額を6,442万5,000円とするものです。

○令和元年度水上村林業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に120万3,000円を追加し、総額を750万3,000円とするものです。

○令和元年度水上村下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に252万7,000円を追加し、総額を3,732万7,000円とするものです。

《決算認定》

○平成30年度水上村一般会計歳入歳出決算認定

○平成30年度水上村国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定

○平成30年度水上村国民健康保険特別会計(直診勘定)歳入歳出決算認定

○平成30年度水上村介護保険特

別会計歳入歳出決算認定

○平成30年度水上村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

○平成30年度水上村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

○平成30年度水上村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

○平成30年度水上村林業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

○平成30年度水上村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
いずれも審議の結果、原案のとおり認定されました。

《報告》

○平成30年度水上村財政健全化判断比率の報告

財政健全化法に基づき監査委員の意見を付して報告があり、いずれも早期健全化基準を下回っており良好と認められました。

《その他》

○工事請負契約の締結について(小春地区簡易給水施設整備工事)

○議員派遣の件について

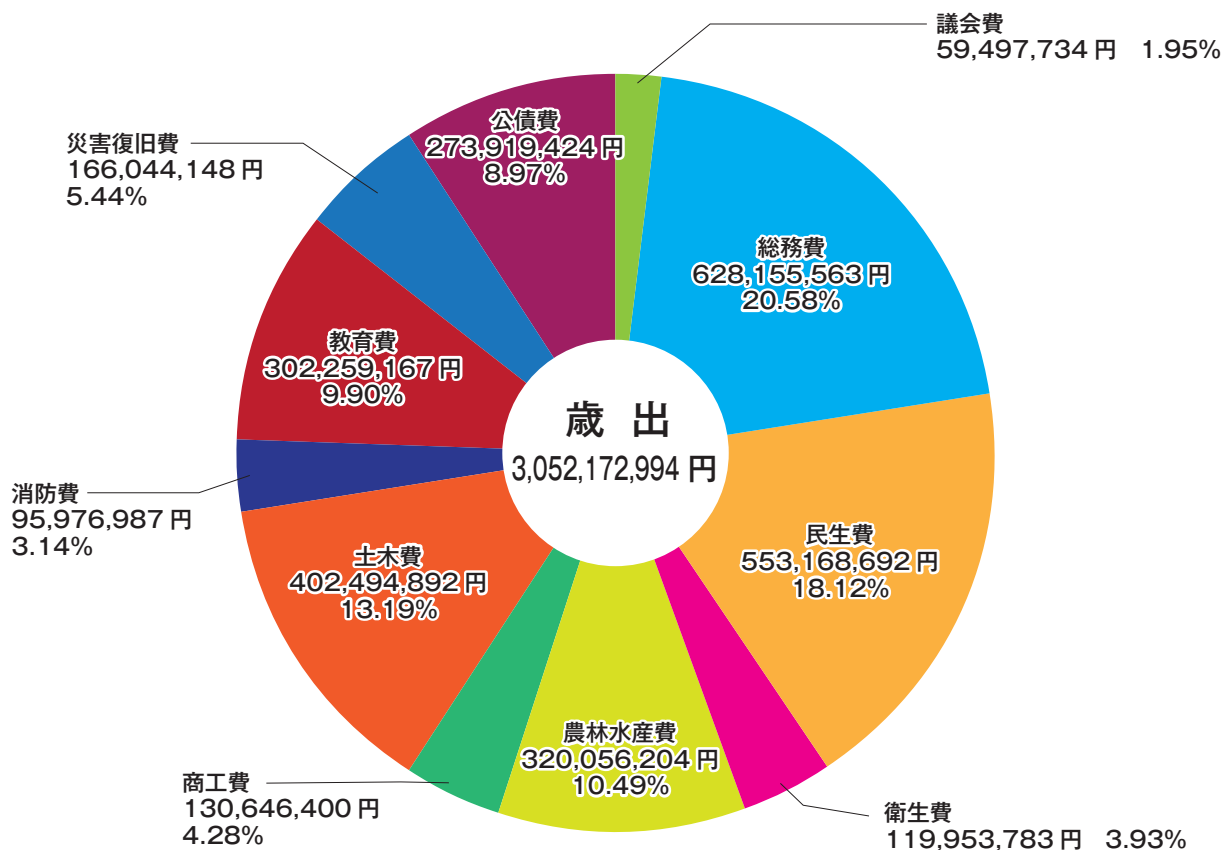
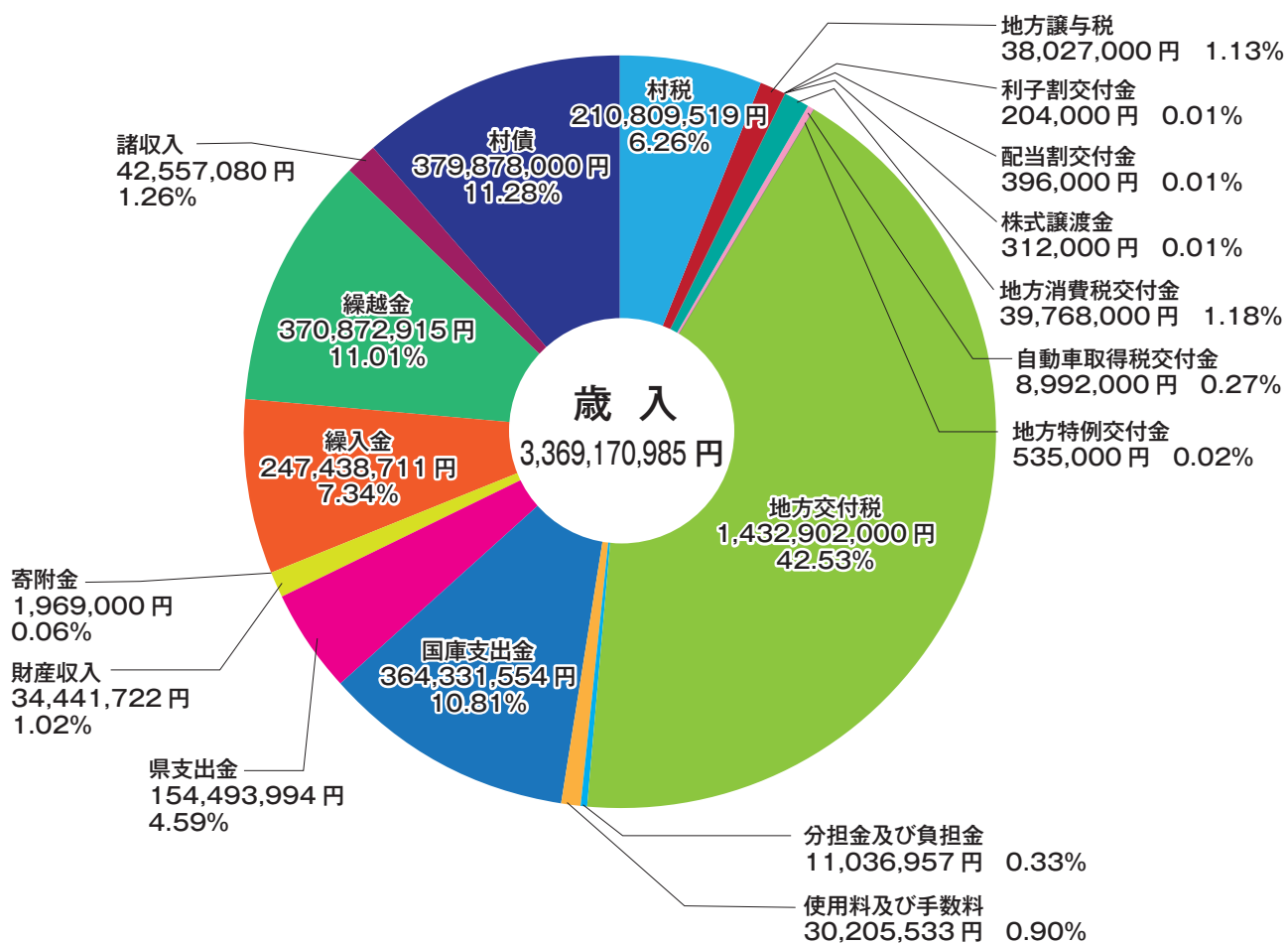
○継続審査申出書について

平成30年度 水上村会計別決算総括表

(単位：円)

会計別	区分	予算現額	決算額	予算現額に対する決算額比較 増減額(繰越明許費を含む)	予算現額に対する 決算額の比較(%)
一般会計	歳入	3,519,015,511	3,369,170,985	△ 149,844,526	95.74%
	歳出	3,519,015,511	3,052,172,994	△ 466,842,517	86.73%
	歳入歳出差引残額		316,997,991		
国民健康保険特別 会計(事業勘定)	歳入	324,420,000	326,335,150	1,915,150	100.59%
	歳出	324,420,000	280,533,232	△ 43,886,768	86.47%
	歳入歳出差引残額		45,801,918		
国民健康保険特別 会計(直診勘定)	歳入	9,710,000	9,833,931	123,931	101.28%
	歳出	9,710,000	9,494,880	△ 215,120	97.78%
	歳入歳出差引残額		339,051		
介護保険特別会計	歳入	377,879,000	373,567,179	△ 4,311,821	98.86%
	歳出	377,879,000	349,440,527	△ 28,438,473	92.47%
	歳入歳出差引残額		24,126,652		
後期高齢者医療 特別会計	歳入	31,541,000	31,172,324	△ 368,676	98.83%
	歳出	31,541,000	30,045,921	△ 1,495,079	95.26%
	歳入歳出差引残額		1,126,403		
簡易水道事業 特別会計	歳入	38,939,000	40,359,449	1,420,449	103.65%
	歳出	38,939,000	34,349,889	△ 4,589,111	88.21%
	歳入歳出差引残額		6,009,560		
農業集落排水事業 特別会計	歳入	59,424,000	59,747,908	323,908	100.55%
	歳出	59,424,000	57,221,998	△ 2,202,002	96.29%
	歳入歳出差引残額		2,525,910		
林業集落排水事業 特別会計	歳入	8,353,000	8,386,296	33,296	100.40%
	歳出	8,353,000	7,183,246	△ 1,169,754	86.00%
	歳入歳出差引残額		1,203,050		
下水道事業 特別会計	歳入	44,182,000	44,860,973	678,973	101.54%
	歳出	44,182,000	42,233,328	△ 1,948,672	95.59%
	歳入歳出差引残額		2,627,645		
総合計	歳入	4,413,463,511	4,263,434,195	△ 150,029,316	96.60%
	歳出	4,413,463,511	3,862,676,015	△ 550,787,496	87.52%
	歳入歳出差引残額		400,758,180		

平成 30 年度歳入歳出表 一般会計



一般質問

考えを質す!



尾前 武志 議員

Q 水上村総合計画における方向性は

A 村民の意見を反映し後期計画を策定

問 村の基本構想は

答 田代総務課長 地方自治体が策定するすべての計画の基本となるものが総合計画。基本構想は、村の課題、将来像、基本施政、目標となる指針、施策の大綱からなっている。

本年度は、後期の5年の計画を策定することとして、住民からの意見を計画に反映していくため、村内19行政区で村づくり地区座談会を行っている。基本構想の施策の大綱は次の7項目。

- 豊かな自然と共生する村づくり
- 健康で生き生きと暮らせる村づくり
- 交流の持続と地域活性化の促進
- 活力ある産業の振興
- ふるさとに親しみ、人と地域を育む教育

○ 高度情報化社会に応じた環境整備

○ 村民と行政の協働による村づくり

問 活力ある産業の振興として、地域の特性を活かした産業づくりとあるが、農業分野の実施状況は

答 川俣産業振興課長

○ 優良農地確保、有効利用と耕作放棄地の防止については、「ひと・農地プラン」等を基本として担い手への集積・集約化

- 農業生産基盤の整備については、岩野地区中山間地域総合整備事業換地事業、団体営圃場整備事業、湯山地区、本野地区用排水路改修の実施
- 担い手の確保については、熊本県農業次世代人材投資事業12名、産業担い手支援補助金10名、農業担い手4名、農業

生産法人の設立2法人

○ 農村助成の地域向上については、認定農業者28名中、女性認定農業者5名

○ 農業経営安定と発展については、農業振興施設整備事業補助金の開始、産業推進機構の設立、家畜導入補助金、子牛自家保留補助金、畜産振興施設等整備事業補助金

○ 農業の自然循環機能の発揮については、畜産農家との耕畜連携

○ 安全な食糧の生産については、トレーサビリティ、生産履歴書、有機減農薬栽培は、認証制度の利用

- 鳥獣被害防止対策については、獣類被害防止設置補助金、野生鳥獣捕獲用罫購入補助金、狩猟免許取得補助金、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策補助金
- 中山間地域等への直接支払

の実施。14集落に1億3,336万5千円、多面的機能発揮促進事業に11集落2,062万3千円。

○ 農協組織による役割の発揮については、営農サポート、資金相談、農林業祭では、産業交流振興を実施。

○ 農業委員会活動の重点化については、耕作放棄地対策として、農地パトロール、維持管理指導の実施

以上、すべての項目において、着手並びに実施中。

問 思い描いている今後の本村の農業とは

答 中嶽村長 諸外国との貿易協定、それに対応するための足腰の強い農業にする。

そのために施設のハード整備、産業推進機構の充実、農地集積の加速化、農業生産性の向上、また、取り組みやすい環境を整備する。

問 人口減少にともない、交付税等が減少した場合、基本構想が計画通り行われなくなるおそれはないか

答 田代総務課長 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」というところで、安定した雇用の創出、出生数の増加、子育て環境の充実、安心な暮らしを守ることで、人口の減少幅を減らしていく。一般財源が減少していくと、その対応として基金を活用しながら政策に取り組みんでいく。



杉野 久志 議員

問 働く場が近くにないと若者が職を求め遠くに行く。本村に企業があることによつて、移住・定住促進につながると思うが誘致の考えは

答 川俣産業振興課長 球磨郡市10市町村で組織されている「企業誘致連絡協議会」で誘致活動を実施している。人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町へ企業を誘致し、そこへ各市町村から就労することを基本的な取り組みとしている。また、インターネットを活用したIT関連企業のサテライトオフィスを誘致することも考えている。

問 特産品販売のための道の駅建設は

答 中嶽村長 道の駅構想については、交通量及び購買消費力の把握、施設を整備した場合の維持管理経費など調査が必要。本村の単独型か他自治体との一体型かの検討もしなければならぬ。スマートインターチェンジができたことで人の流れはこれま

Q スマートインターチェンジ
開通によりどう変わるか

A 観光・農業による
一体的な産業振興へ

で以上によくならず、それらをチャンスとして捉えることには大賛成だが、まずは実現性に向けた調査をさせていただきたい。

問 本村では、地域資源を活かしたイベントがあるが、宿泊施設と収容人数は

答 川俣産業振興課長 旅館は3件、収容人数は120名、民宿は7件、収容人数は143名、農家民宿は3件、収容人数は25名、市房キャンプ場は収容人数400名。合計14施設688名を収容できる。

問 イベントに参加された方が、宿泊施設が足りず、車や村外に泊まられたと聞いたが、民泊推進の考えは

答 川俣産業振興課長 有償で繰り返し宿泊所を提供するサービスは旅館業法上の許可の取得、住宅を利用する民泊の場合、住宅宿泊事業法による住宅宿泊事業の届出も必要。費用対効果が高いと認められるようであれば、興味がある方を回覧で募り説明会を開催することも考えられる。

水上村議会・水上村上京要望報告

～ 主軸事業の実現に向けて要望書を提出 ～

8月27日、本村議会議員全員と中嶽村長は、衆議院第2議員会館及び参議院議員会館を訪れ、地元選出国會議員へ要望活動を行いました。

なお、本村の主軸事業を盛り込んだ「地域振興に係る提案及び要望書」の要望内容は次の10項目です。

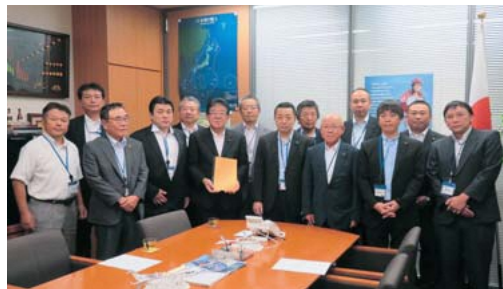
1. 市房ダム湖周辺等整備
2. 道路事業の整備促進
3. 橋梁の長寿命化修繕
4. 公営住宅の整備促進
5. 農業農村整備事業等の促進
6. 林業振興施策の拡充強化
7. 林業成長産業化に対する支援
8. 野生鳥獣類被害対策
9. 地域資源を活用した地域活性化に対する支援
10. 教育支援活動等に対する予算及び支援員の確保

特に、「2. 道路事業の整備促進」については、湯山舟石地区からクロスカンントリー施設「水上スカイヴィレッジ」に至る国道388号の未改良区間の整備を、「7. 林業成長産業化に対する支援」については、林野庁から指定を受けた「奥球磨地域」による地域林業・木材産業再興へ向けての財政支援などを強く要望しました。

なお、要望書を閲覧されたい方は、ぜひ議会事務局までご相談ください。



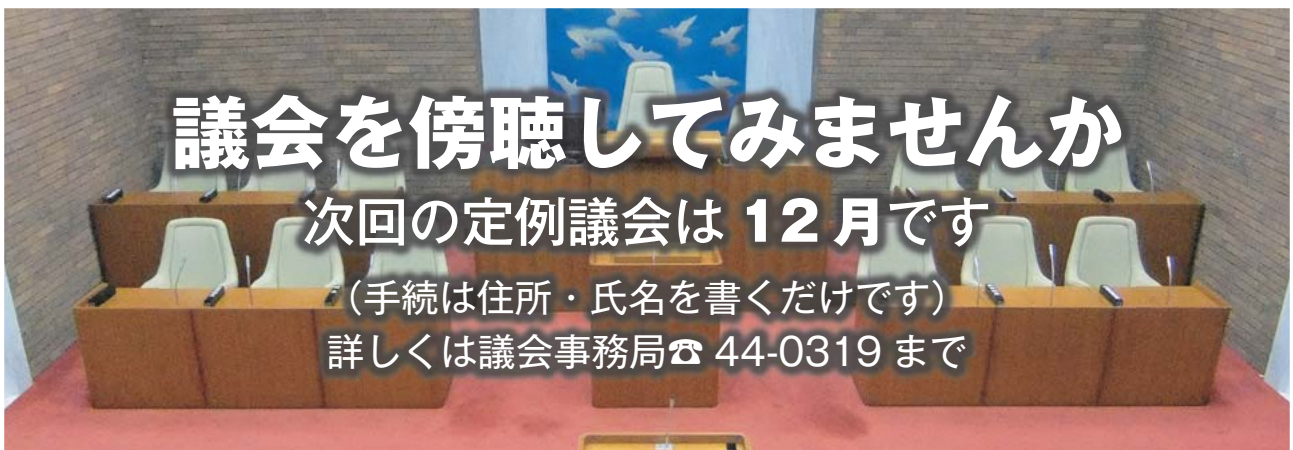
松村祥史参議院議員



金子恭之衆議院議員



馬場成志参議院議員（秘書）



充実した「議会だより」に向けて

～ 全国町村議会広報研修会に参加 ～

9月25日から26日にかけて、本村議会の広報特別委員会(米本宗徳委員長)は、東京都シェーンバッハサポー(砂防会館別館)で開催された「全国町村議会広報研修会」に参加しました。

本村の「議会だより」には、年4回、主に定例議会の内容及び視察研修等について掲載をしていますが、発行に至るまでには広報特別委員会が毎回4回程度開催されています。

しかし、表現も手法も千差万別。どう表現すればより伝わるのかを考えるとなかなか進まないものです。

今回は、3名の講師がそれぞれ違った立場から、「より情報をわかりやすく伝えるための手法」、「手に取られ、読まれ、そして議員自身の行動に結びつけるための広報誌」といったものまで様々な手法や考え方が紹介されました。

研修内容については、以下のとおり。

- 「読者目線で親切な広報誌を作るには」
『月刊総務』編集長 豊田健一^{とよだけんいち}氏
- 「情報をわかりやすく伝える」
朝日新聞メディアプロダクション
校閲事業部長 前田安正^{まえだやすまさ}氏
- 「町村議会広報コンクール 上位入賞
団体の評価ポイント」
エディター 吉村^{よしむら} 潔^{きよし}氏



全国から約450名の議会議員が参加

報告者：広報特別委員会

委員長 米本宗徳

副委員長 山崎隆浩

委員 杉野久志

議員発議で議員定数削減(案)を提出

～ 議会活性化特別委員会へ付託 ～

本定例会最終日の9月12日、議員発議で「水上村議会議員定数条例の一部を改正する条例(案)」の提出があった。

本村議会の議員定数は現在10名。提出された条例案は定数を8名へ削減するものとなっている。提出者は富山憲治議員、賛成者は杉野久志議員と尾前武志議員。

富山憲治議員は、「最近の厳しい社会の情勢に鑑み、地方行財政改革が強く求められている。また本村議会議員の選挙も、本村発足以来かつてない2期連続して無投票ということから、特に住民からも定数削減という厳しい目が向けられている。このことから、我々議会の自主的な判断により、議員定数を削減するものである」と提案理由を説明した。

この本会議で即決するには非常に重い議題であり、「議会活性化特別委員会」(小野頼年委員長)に付託し調査することを議長が提案し、全会一致で決定した。

これからの議会のあり方は

かたやまよしひろ
～ 片山善博元総務大臣から金言 ～

10月1日、本村議会は、嘉島町民会館で開催された熊本県町村議会議長会主催の「町村議会議員研修会」に全議員で参加しました。

当日は、早稲田大学大学院教授で元総務大臣・元鳥取県知事の片山善博氏から、「これからの議会のあり方・議員への期待」といった演題で講演が行われました。

内容については、以下のとおり。

- 統一地方選挙から見てくる地方議会の課題
- 地方議会の役割は何か
- 地域の重大事案と議会
- 財政の持続可能性と議会
- 教育と議会
- 地方行政と議会
- 災害と議会
- 「自治体戦略 2040 構想」とは

片山氏は地方も中央もすべてを経験されているだけあって、地方議会の課題を的確にとらえられており、発する言葉はまさに金言であった。本村議会も直面する課題が多かった。今後改善できるものについては「議会活性化特別委員会」にて調査・研究を進めたい。



町村議会議員に講演を行う片山善博氏

特別養護老人ホーム福寿荘が民営化

～ 医療法人八紘会へ移譲を決定 ～

8月30日、令和元年第3回人吉球磨広域行政組合議会定例会が人吉球磨クリーンプラザ大会議室で開会され、代表理事（松岡隼人人吉市長）から「特別養護老人ホーム福寿荘の民営化」について行政報告がありました。

特別養護老人ホーム福寿荘は、昭和47年に設立。特に上球磨圏域の高齢化社会に大きな役割を担ってきたが、近年は諸設備の老朽化が進み、多様化する利用者ニーズへの対応が困難になるなど課題が多かった。

平成29年5月に「民営化検討委員会」が設置され、様々な角度から検討が行われた結果、「民営化については妥当である」との答申を受け、社会福祉法人への移譲が進められていましたが、本年1月に「移譲法人選定委員会」の審査を経て、移譲法人優先候補者を選定。7月定例理事会で、そのだ医院（湯前町）を経営する「医療法人八紘会」に正式決定となりました。

「今後、現行のサービス水準を下回ることのないよう、施設の利用者様やご家族に不安を与えることなく、来る令和3年4月1日の移譲日まで万全を期してまいります」と報告がありました。



移譲先が決定した
特別養護老人ホーム福寿荘

報告者：人吉球磨広域行政組合議会議員 荒嶽 晋・尾前 武志

地域循環型社会の構築をめざして

～ 人吉球磨広域行政組合議会視察研修に参加 ～

9月26日から27日にかけて、資源有価物の有効利用及び廃プラスチック等のリサイクルの調査を目的とする人吉球磨広域行政組合議会視察研修が行われ、当組合議会議員28名が参加しました。研修先は、1日目は山口県山陽小野田市にある共英製鋼株式会社山口事業所、2日目は熊本県西区にある株式会社エコポート九州を視察しました。



施設の概要説明を受ける広域議会議員

共英製鋼株式会社 視察概要

施設の概要説明後、鉄スクラップを原料に、電気炉を用いて鉄筋棒鋼などの建設用鋼材を製造している施設や医療廃棄物等産業廃棄物の収集運搬・処理業務が行われている施設を見学しました。



廃プラスチック処理施設を見学

株式会社エコポート九州 視察概要

施設の概要説明後、市町村や民間企業から排出されるプラスチック系容器包装類を選別（プラスチック素材以外の紙くずや金属くず等を取り除く）プラスチック製容器包装類のみプレス機にて圧縮梱包し、廃プラスチックペール品を生産するプラスチック一次選別事業をはじめ、プラスチックマテリアル事業、機密文書溶解事業、クレープ紙製造事業、木質ペレット製造事業、RPF製造（固形燃料）事業が行われている施設を見学しました。

報告者：人吉球磨広域行政組合議会議員 荒嶽 晋・尾前 武志

編集後記

10月1日より、消費税が10パーセントへ増税されました。消費の落ち込みを防ぐため、軽減税率の導入やキャッシュレス決済によるポイント還元など様々な対策が講じられ、多くの人々が利用し、ポイントを有効に活用されていると聞きます。本村に目を向けてみると、支払に対応するための設備投資もさることながら、「意味がよくわからない」という話も耳にします。今後も地方では受け入れがたいような制度が導入されるようになると考えられ、講習会や勉強会など自ら足を運び率先して対応していかなければならないと感じました。

そのようななか、ふと本村のパンフレットに目を向けてみると「ここには、本物の水と空気がある」と書かれています。確かに水上村には四季折々の姿を見せてくれる大自然があります。時代は進んでいきますが、ここにしかないものを大切にしながら、次の時代へ受け継ぐことが出来るよう、努力と挑戦の必要性を再認識いたしました。

秋も深まり、朝夕の冷え込みが厳しくなってきました。風邪などひかれないよう健康に留意されお過ごしください。

山崎 隆浩



市房杉

広報特別委員会

委員長 米本 宗徳
副委員長 山崎 隆浩
委員 杉野 久志
委員 尾前 武志